

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年6月分)

1. 調査実施期間 平成24年 5月20日 ～6月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

6月分の回答企業数は 32社、回収率は 82.1%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = {(「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合)} ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		24/6月	24/7月	24/8月
仕入動向	国産材	-8.3	-22.9	-12.5
	外材	6.7	-20.0	-10.0
販売動向	国産材	-14.6	-8.3	-20.8
	外材	-12.1	-5.2	-19.0
在庫動向	国産材	-4.5	-4.5	-15.9
	外材	0.0	-8.3	-18.3

仕入れは、先行き不透明感もあり、国産材はマイナス基調、外材は8月に向けプラスからマイナスに。販売は、国産材、外材ともマイナス基調が続く。在庫は、先行き不透明で国産材はマイナス基調、外材はゼロからマイナスとなり、国産材、外材とも8月に向けマイナス幅拡大。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	24/6月	24/7月	24/8月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	-2.8	0.0	0.0
ヒノキ正角	-11.1	-5.6	-2.9
ヒノキ土台角	-8.3	-5.6	-2.9
米ツガ正角(現地挽)	-2.8	-2.8	-2.8
米ツガ防腐土台角	-5.9	-2.9	0.0
米ツガ割物(現地挽)	-2.9	-2.9	-2.9
米マツ平角	-5.9	-2.9	-3.1
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-13.9	-2.8	-2.9
ホワイトウッド集成管柱	-5.3	2.6	-2.6
レッドウッド集成平角	-6.7	3.3	-3.3
型枠合板(輸入)	-12.5	3.1	-6.7
針葉樹構造用合板	-40.6	-9.4	-6.3
針葉樹構造用合板(厚物)	-26.7	-13.3	0.0

スギ正角(KD)はやや弱いスギ正角(グリーン)ともども横ばいに、ヒノキ正角、ヒノキ土台とも弱い、8月に向け弱保合に。米ツガ土台は弱い8月に向け保合に、米ツガ正角(現地挽)、米ツガ割物(現地挽)はやや弱含みで推移。米マツ平角は、やや弱含み、ないし弱保合。北洋アカマツタルキは、弱い、8月に向け弱保合に。WW集成管柱、RW集成平角とも弱い、8月に向け保合ないし弱保合に。合板は全体的に弱く、特に針葉樹構造用が弱い、8月に向け厚物は保合に、輸入型枠は回復、構造用も多少回復か。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太の、米国5月積み輸出価格は据え置いた様子。米国内の需要回復により国内向け丸太供給が活発化し価格もしっかりしている。カナダ白系役物丸太は相変わらずの出材で価格下がらない。(東京：米材問屋)</p> <p>スプルースは3カ月ぶりの入荷で一息つける。(東京：米材問屋)慌てて買う必要がない。メーカー、港に在庫は豊富。(東京：集成材等問屋)4月以降も思った以上に動きは好転せず、仕入れは慎重にならざるを得ない。(東京：外材問屋)円高進行で仕入れは難しい状況。(東京：外材問屋)</p> <p>W.Wは足りないサイズが出ているが困るほどではない。(東海：外材問屋)中京地区のプレカットの受注は依然少ない。(東海：外材問屋)</p> <p>引き合い少なく、足りないサイズだけ仕入れする動きが目立つ。(東京：南洋・中国材問屋)産地悪天候で原木出材少なく強含み。(東京：南洋・中国材問屋)値下がり懸念し、仕入れを少なくしている。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>今月は何件か見積が実行となるので材料の手当に向かう。(東京：国産材問屋)製品量少なめ、仕入れも当用買い。(東京：国産材問屋)</p> <p>良材を仕入れるのに腐心している。(東京：仲買・小売)米ツガ造作用KD無地材を在庫し需要に備える。アカマツタルキ3m物も少し多めに在庫。(東京：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>米マツ一般材丸太は、京浜マーケットでは大手メーカー中心に新材手当は積極的で中小メーカーとの格差は益々広がっている。スプルース役物は丸太、カスタムカットとも入荷後即売状態が続いている。(東京：米材問屋)</p> <p>売り出し前から完売状態で全く値切られないので歯ごたえなし。半製品の勢いに比べ挽立材は全く価格動かず値上げが通らない状態。(東京：米材問屋)5月は予想以上に売れた。6月は厳しそう。(東京：集成材等問屋)梅雨に入れば益々不振か(?)。(東京：外材問屋)</p> <p>ずっと荷動き悪いまま。(東海：外材問屋)北欧材の羽柄材が一部入荷少なく品薄。集成材もラミナ原価が高くなっていると思われるが、荷動き悪く値上げできないと思われる。(東海：外材問屋)</p> <p>見積増加傾向だが、価格面で厳しく、産地価格上昇分の転嫁できず採算合わない。(東京：南洋・中国材問屋)低調。(東京：南洋・中国材問屋)現状売り上げは不振。7~8月は建具関係の仕事が出るかもしれない。(東京：広葉樹製材等問屋)構造材がとにかく動かない。(東京：国産材問屋)荷動きは依然低調だが、6月以降若干上向いた感がある。(東京：国産材問屋)</p> <p>売れる物は下地板と合板に限られ、安い物ばかりで売り上げが伸びない。(東京：仲買・小売)良く動いている。新築は外材ばかり。(東京：仲買・小売)戸建ての動き相変わらず少ない。ゼネコン関係の物件も6月よりも7月に入ってからとの声が多い。(東京：仲買・小売)</p> <p>荷動きは非常に活発な状態続いている。(東海：仲買・小売)</p> <p>今月も現場少なく、荷動き悪い。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>京浜マーケットでの米マツ一般材丸太では、不良在庫は見あたらず、在庫も月を追って減少傾向が強い。(東京：米材問屋)入荷即完売のため在庫は全く増えず、得意先は、もう次回入荷を心待ちにしている。(東京：米材問屋)</p> <p>在庫は現状維持で、決して増やさないようにもって行く。(東京：集成材等問屋)</p> <p>入荷少ないが出荷は悪く在庫は増えている。(東京：南洋・中国材問屋)造作材の動き悪く平割の引き合い少ない。学校関係の仕事に期待。(東京：南洋・中国材問屋)産地の生産減少やら予定入荷品の入港遅れが出ている。埠頭の在庫は若干減少。(東京：南洋・中国材問屋)在庫は適正。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>仕入れ少ないため、在庫は減りつつある。(東京：国産材問屋)</p> <p>良材は切らさないよう維持。(東京：仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>端境期に向かい、値段はもう下がらないと予想。(東京：国産材問屋)内地産丸太が全国的に値崩れしてきているのが気になる。製品価格下げの前兆か。(東京：国産材問屋)</p> <p>変化なし。(東海：外材問屋)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>変わらず。(東海：外材問屋)</p>
米ツガ	<p>円高、梅雨入りを控え、弱含みになると予想。(東京：外材問屋)</p> <p>変わらず。(東海：外材問屋) 変わらず。(東海：外材問屋)</p>
米マツ平角	<p>無風。(東京：外材問屋) 荷動き、価格横ばい。(東海：外材問屋)</p>
北洋アカマツタルキ	<p>変わらず。(東海：外材問屋)</p>
WW・RW 集成材	<p>円高、需要不足で価格は弱い。(東京：集成材等問屋) 集成平角は史上最安値。円高に関係なく下げはないと予測 (東京：外材問屋)</p> <p>WWは国産管柱1,530円/本で変わらず、先物7月~8月やや下落(1,500円/本前後)、RWは値上げできず横ばい。(東海：外材問屋)</p>
合板	<p>針葉樹構造用やや下げて850円/枚、厚物2,200円/枚。(東海：外材問屋)</p> <p>輸入品は上昇が始まったようだが、どのくらいのペースで進むかは不明。(東京：仲買・小売)</p> <p>針葉樹が弱い。輸入合板は物によりすぐ間に合わない物もある。型枠が強め。(東京：仲買・小売)</p> <p>多少下落しているものの落ち着いている。(大阪：仲買・小売)</p>